



学校だより

平成28年11月30日

練馬区立田柄第二小学校

校長 谷田 弘子

HP <http://www.tagara2-e.nerima-ky.ed.jp> e-mail info@tagara2-e.nerima-ky.ed.jp

教育目標:元気な子ども・考える子ども・思いやる子ども

No.463

ほんのわずかな一言が 不思議な力をもつ

校長 谷田 弘子

展覧会初日、気象庁観測史上初めてという11月の積雪に見舞われた東京でした。保護者鑑賞日には晴れ上がり、多くの地域の方々、保護者の皆様に参観いただき、ありがとうございました。ぎりぎりまで作品が仕上がらなかった児童もあり、ドキドキ、ハラハラしましたが、何とか間に合うことができました。今年度も、ビブラホーンの演奏を板垣さんをお願いし、非日常の空間が演出されました。26日(土)に開催された「学校評議員会」においても、児童の作品についてたくさんのお褒めの言葉をいただきました。児童のがんばりが良い形で表れたのです。

さて、大昔の人々は、「言霊(ことだま)」と言って、言葉は使い方によって幸せと不幸を左右すると信じていたそうです。この考えは今でも通用しています。

例えば、絵を描き終えて満足しているときに、「これ何の絵、とてもウサギには見えないね!」などと友達に言われたら、がっかりしてしまいます。幸せの絶頂にいたのに、心ない一言によって落胆してしまいます。逆に、バスケットボールの試合に負けてしょんぼりしていた時に、コーチから「今日のシュートのタイミングは良かったね。ずいぶん進歩したね。この次が楽しみだ!」と声をかけられたら、元気を取り戻します。

私にも、一つの思い出があります。若いときでした。あることで大きな失敗をして、職場のみんなに迷惑をかけてしまったのです。職場の責任者に、「昨日は、自分の失敗でご迷惑をおかけしました。申し訳ありません。」と謝りました。そのとき、その責任者の人は、「君のしたことは、職場のみんなに迷惑をかけてしまった。大いに反省し、今後

は同じ失敗はしないでください。」「ただし、少しでもよくしようと工夫したことはいいことだ。その気持ちは今後も大事にするように。」と、諭されました。大声で怒鳴られることはなく、この一言で、「よし、これからがんばろう。でも、実行する前にもう一度確かめるようにしよう。」と前向きに考えるようにしました。

その一言

その一言で励まされ

その一言で夢をもち

その一言で腹が立ち

その一言でがっかりし

その一言で泣かされる

ほんのわずかな一言が

不思議に大きな力をもつ

ほんのちょっとした一言で

これは、高橋系吾さんの「その一言」という詩です。短い詩の中に、一言の言葉が、人の心に大きな変化をもたらすことが良く表現されています。たった一言の言葉で元気や勇気をもらい、たった一言で自分の将来に夢をもつということがあります。相手が、元気になるように、温かい励ましの言葉をかける児童を育てたいと思います。もちろん学校の指導も重要ですが、保護者の皆さんの一言も大きな意味をもつと思います。

最近、低学年の児童が、「こんな言葉を知っているのかな?」と不思議に思うような難しくて乱暴な言葉を友達に投げかけている様子を見かけることが多くあります。「どこで覚えてきたのかな?」と考えてしまいます。ゲームやテレビが強く影響していることも確かですが、温かい言葉が多くある環境を作っていくことが心を育てる一歩だと思います。保護者の皆様のご協力もお願いいたします。